

## 第2期行財政改革プログラム 個別取組工程表

所管	財政	局	財政	部	財政	課
項目	2-6	補助金、単独扶助、負担金等の見直し				
実施内容	社会情勢や市民ニーズの変化等を踏まえ、事業の必要性、効果・公益性等の観点から、予算編成などの機会を捉えて定期的に見直しを行います。					
目標	社会情勢や市民ニーズの変化を踏まえた補助金、単独扶助、負担金等の適正化 (平成28年度追記)					
工程	当初予定	26年度	27年度	28年度	29年度	
		←————→ 予算編成の中で見直しを実施				
進捗状況 (実績・見込)		26年度	27年度	28年度	29年度	
		↔	↔	↔	←-----→	←-----→ 予算編成の中で見直しを実施
数値目標	-	見込	26年度	27年度	28年度	29年度
		実績	-	-	-	-
実績	28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の必要性や効果について検証し、効果を認めがたいものについて、整理・統合削減を実施</li> <li>・単独扶助について、社会経済環境を踏まえ、必要性や効果の観点から見直しを実施</li> <li>・予算編成過程の中で、個別に補助金の廃止や削減等の見直しを実施</li> </ul>				
単年度の 効果額見込 及び実績		見込	26年度	27年度	28年度	29年度
		実績	-	-	-	-
評価	28年度	B	課題	社会情勢の変化に対応した制度見直しを進めるとともに、補助金等に対するニーズの把握、補助効果の検証などを常に行う必要がある。		
			改善策	予算編成過程だけでなく、予算の執行管理など、様々な機会を通じて見直しを行っていく。		
評価基準			A: 目標を上回って達成 B: 目標を概ね達成 C: 未達成			
備考						